

# 令和6年度 事業報告

## 社会福祉法人 中山梅寿会

### 【施設部門】

- ・指定介護老人福祉施設 なかやま幸梅園
- ・指定短期入所生活介護・介護予防事業所 なかやま幸梅園
- ・短期入所生活介護・介護予防事業所 野中

### 【ケアハウス部門】

- ・ケアハウス なかやま幸梅園

### 【看護部門】

### 【調理部門】

- ・なかやま幸梅園 厨房

### 【デイサービス部門】

- ・指定通所介護・介護予防事業所 なかやま幸梅園
- ・指定通所介護・介護予防事業所 佐礼谷
- ・指定通所介護・介護予防事業所 野中

### 【在宅部門】

- ・指定居宅介護支援事業所 なかやま幸梅園
- ・在宅介護支援センター なかやま幸梅園

### 【訪問介護部門】

- ・指定訪問介護事業所 なかやま幸梅園

### 【障がい部門】

- ・地域活動支援センター くりのみ
- ・指定相談支援事業所 くりのみ

## 【基本理念】

# 日本一あったかいホームを目指します

## 【基本方針】

### 1 個人の尊厳

一人の人間としての個性、主体性、可能性を尊重しかけがえのない存在として大切にします

### 2 信頼性、安全性、安心感の確保

職員自らの専門的役割を自覚し、資質の向上を図ることによりサービスを充実し、信頼性を高めるとともに利用者の安全を守り安心して暮らすことができる環境の確保に努めます

### 3 地域との連携

地域との交流、連携を通じ、地域福祉の拠点として共に支えあう社会の構築を目指します

## 【心構え】

- ・あいさつをしよう
- ・思いやりの気持ちをしっかり持とう
- ・入居者、利用者への言葉遣いに気をつけよう
- ・自分の価値観を押し付けないようにしよう
- ・中山梅寿会職員として責任ある行動をとろう

## 【運営方針】

### 1 個別援助

- ① 基本的な生活にかかせない3大介護「食事」・「排泄」・「入浴」において、個別ケアに取り組み、当たり前前の生活と一人ひとりの生活習慣を大切にした支援を行う。
- ② 利用者の心身状況及び生活課題等のニーズを把握すると共に、各関係機関等と連携を図りながら、利用者及び家族の希望に沿った安心できるサービスを提供する。

### 2 機能訓練

- ① 利用者の自立を支援し、機能の維持向上を図るため、機能訓練を計画的かつ、継続的に実施する。
- ② 利用者が有する能力を最大限活用しながら意欲的に活動できる訓練プログラムの開発及び、アクティビティ（集団的に行われるレクリエーション、創作活動等の機能訓練）の機能強化を図る。

### 3 健康管理

- ① 利用者の心身状況を確認し、本人及び家族、医療機関と連携を図り、健康維持に努める。生活環境の変化による体調不良、混乱を防止するために、必要な健康管理体制を整え、適切な対応を行う。
- ② 感染症については、感染症マニュアルに沿った適切な対応を行う。

### 4 医療的サポート

- ① 利用者の健康に対する不安を取り除き、安心して過ごせるよう、看護・介護が一体となって、本人及び家族、医療機関等と連携を図り、健康管理を行う。

### 5 環境整備

- ① 生活場所の変化による混乱が生じる可能性があることを説明し、情報収集することにより、できる限り在宅生活に近い環境の整備を行う。また、利用に際しては、事業所での居室環境について説明を行い、同意を得る。

### 6 リスク管理

- ① 利用者が安全に過ごせるよう事故予防に努め、事故発生時の適切な対応及び再発防止を行う。

## 7 防災対策

- ① 火災をはじめ、地震、風水害等災害の発生に備え、緊急時における利用者の生命と安全を確保するため、自主防災活動及び、地域防災組織との連携強化を図る。

## 8 職員教育と連携

- ① 質の高いサービスを提供するために、自己のスキルアップに努め、資質の向上を図る。
- ② 医療と介護の継ぎ目のないサービスを効果的に利用できるようにする観点から、入院時や退院・退所時に病院等と連絡を取り合い、利用者に関する情報共有を行う。また、障がい福祉サービスの利用者が、介護保険に移行する時やその後も家族を含めた適切なケアプランが作成できるように、障がい福祉制度の相談支援専門員との連携に努める。

## 9 地域交流

- ① 地域における行事等への参加や、地区住民との交流、ボランティア等の受け入れを通じて、地域コミュニティ機能の充実を図る。

## 10 地域貢献

- ① 関係機関と連携して、地域社会の中で生活していくための課題を発見し、地域における様々なニーズに柔軟に対応していく。
- ② 地域の一員である自覚を持ち、理解と信頼が得られるように努めると共に、地域福祉（障害）の拠点として開かれた施設を目指す。
- ③ 日頃から地域との関係作りに努め、民生委員、高齢者見守り委員、地域住民との交流を持ち、各事業所が協力しながら地域貢献を行う。

## 【法人目標】

1. コンプライアンスの徹底を図り、健全な社会福祉法人を継続する。
2. 利用者に対し人権尊重を基本に、一人ひとりの支援ニーズを把握してサービスの質の向上を図る。
3. 身体拘束ゼロ運動の促進、リスクマネジメント等に積極的に取り組み、利用者また、家族との信頼関係の強化を図り、処遇の向上に努める。
4. 「多角化・多機能化」により経営基盤を強化する。
  - ① 組織の変革と風土の活性化
  - ② 専門性の向上と各事業の知識技術（ノウハウ）の共有
  - ③ 人材確保に向けた採用、定着、離職防止の取り組み強化
  - ④ 福利厚生充実
5. 感染症とうまく共存しながら、地域との繋がりを再構築していくと共に、地域の旬な情報を収集し、行政と連携を図り地域福祉の推進及び、公益的な取り組みを行う。
6. BCP 計画に従い、地域各種組織との連携強化を図り、各事業所の災害・防犯対策を強化する。
7. 制度や報酬見直しにより再度、経営資源(ヒト・モノ・カネ)を把握して収支の良化を図る。
8. 今後の地域動向を予測して事業の効率化を実施。
9. 老朽化設備の整備を計画的に実施する。

## 【法人目標に対する評価】

★前年5年度に五類となった新型コロナウイルス感染症については、今年度法人内の事業所において職員 19 名（前年対比▲3名）・利用者 22 名（前年対比+8名）、合計 41 名（前年対比+5名）の感染発症者が確認された。特に2月後半～3月には、同一部署にて発症が確認され、多くの利用者に迷惑をかけた。経営面では、本年度介護報酬の改定の年であったが、全体的な利用者増には繋がらず、物価の高騰などもあり収益面でもいっそう厳しい一年となった。

- 本年度も引き続き「法令遵守」だけでなく職業倫理や社会的な規範に従い、公正・公平に業務を継続することができた。
- 法人内での勉強会や教育、外部開催の研修に参加することで利用者本位、自立支援に向けたサービスの質の向上ができた。
- 苦情については発生がなく、家族との信頼関係の強化ができた。
- 人事の異動による組織の変革、認知症に対する勉強会により専門性知識向上に繋がった。また人材も職員の紹介協力、ハローワーク、ホームページの活用などにより確保することができた。
- 各事業所における利用者の全体実績として、上期は順調にプラス進行していたが下期後半に減少となり最終前年対比 166名の減となった。利用者の動向としては、昨年からの施設指向への変化が継続となった。経費支出面では設備の突発修繕、新型コロナウイルス感染症の対応経費も大きく影響した。
- BCP 計画に対する実地訓練も実施した。
- 今後の事業効率化を施策検討できたことで、次年度の展開をスタートできた。
- 老朽化設備対応として消防設備の整備を実施、次年度の立案もできた。

## 1. 各委員会活動

委員会名	主な活動内容	年回数
【 運 営 会 議 】 ・防災・安全衛生・メンタル対策 ・身体拘束適正化検討 ・虐待防止検討 ・生産性向上	■施設運営に関する問題解決の取り組み ■防災対策等に関わる内容 ■安全衛生に関わる内容 ■心の健康に関わる内容 ■身体拘束適正化・廃止に関する取り組み ■虐待防止に関わる内容 ■生産性向上に関わる内容	23
【 相 談 員 会 】 ・相談員・車両	■行事計画・リスク管理・各事業所との連携 ■車両の安全運行及び車両管理	11
【 事 故 防 止 委 員 会 】 【 安 全 対 策 委 員 会 】	■事故の予防と発生時の対応に関する取り組み ■危険箇所の確認、環境整備等	
【 ナ ー ス 会 】 ・感染症対策・医療安全管理	■感染症の予防と発生時の対応に関する取り組み ■医療事故の予防・再発防止および発生時の適切な対応等	11
【 生 活 支 援 委 員 会 】 ・身体拘束適正化検討 ・ターミナル・事故防止	■特養入居者の身体拘束適正化・廃止に関する取り組み ■特養入居者の看取りに関する取り組み等 ■特養入居者の事故予防と発生時の対応に関する取り組み	10
【 食 事 委 員 会 】	■入居・利用者の食事形態の見直し及び環境整備	4
【 排 泄 委 員 会 】	■入居者・利用者の排泄の見直し・排泄用品の見直し	3
【 褥 瘡 委 員 会 】	■褥瘡の予防と発生時の対応に関する取り組み	
【 リ ハ ビ リ 委 員 会 】 【 腰 痛 対 策 委 員 会 】	■生活援助に向けた環境整備とリハビリ ■職場における腰痛予防対策	2
【 接 遇 委 員 会 】 【 環 境 整 備 委 員 会 】	■職員の質の向上に向けた取り組み ■清潔な施設環境の整備等	3
【 研 修 委 員 会 】	■施設内外の研修の立案・実施	2
【 広 報 委 員 会 】	■年4回の広報誌の作成運営	4
【 職 員 会 】	法人・施設方針の確認、研修や各委員会報告等	11
【 特 養 会 】	特養における諸問題の解決に向けた取り組み	10
【 厨 房 部 会 】	調理における諸問題の改善に向けた取り組み	3

## 2. ボランティア状況（定期）

	クラブ等名	ボランティア	
月/1回	フラワーアレンジメント	中塚道子	12回
月/2回	書道クラブ	西山一幸	16回
月/3回	シーツ交換ボランティア	町内協力者 23名	17回

## 3. ボランティア状況（不定期）

日	ボランティアグループ名	内 容
6/2	立川神楽保存会	お神楽
9/4	中山地区老人クラブ会員	中山地区老人クラブ会員による物品等寄贈
9/14	建築組合	環境整備ボランティア 木の伐採作業等
9/15	中山縁歌塾	敬老会演芸ボランティア
12/10	商工会女性部	商工会女性部による寄せ植え寄贈
12/14	中山地区民生児童委員	施設清掃ボランティア 屋外窓清掃 竹伐採作業等

#### 4. 園内研修

月日	研修内容	講師名	参加人数	資料確認
4/24	法令順守・プライバシー保護・虐待防止・身体拘束適正化に関する勉強会	権田施設長	47	24
6/26	感染症(食中毒予防他)勉強会	小川管理栄養士	48	22
7/24	事故防止勉強会	権田施設長	40	21
8/28	褥瘡対策勉強会	褥瘡対策委員会	28	11
9月	感染症(新型コロナウイルス関係)勉強会(各事業所)	感染症対策委員会	69	
10/24.30	救急救命講習会	消防署・救命士	79	
12/11	事故防止勉強会	鍋田統括責任者	44	7
12/11	認知症勉強会	立花亜由美Dr	44	7
1/22	高齢者虐待防止及び身体拘束に関する勉強会	権田施設長	37	27
3月	褥瘡対策勉強会(各事業所)	褥瘡対策委員会	38	

#### 5. 園外研修 別紙1

#### 6. 施設見学

月日	団体名
	なし

#### 7. 施設実習

月日	団体名	人数
9/12 ~ 9/13	中山中学校職場体験学習	3名
12/6 ~ 12/7	明治薬科大学薬学部薬学科	1名

#### 8. 行事

	行事
4月	花見
5月	母の日会・運動会(各事業所)
6月	父の日会・焼肉パーティ(幸梅園)・風水害避難訓練
7月	風船バレー大会(各事業所)・焼肉パーティ(佐礼谷・野中)
8月	夏祭り・慰霊祭・そうめん流し
9月	敬老会
10月	餅つき
11月	文化祭
12月	シェイクアウト(地震防災)訓練・忘年会・クリスマス会・しめ縄作り・餅つき
1月	歳旦祭・新年会
2月	節分「豆まき」
3月	風船バレー大会(各事業所)

## 9. その他

月日	主な内容
4/2	害虫駆除
4/15	入所判定会
5/2	害虫駆除
6/2	カーペット清掃
6/5	監事監査
6/7	害虫駆除
6/11	第1回理事会
6/18	風水害防災訓練
6/27	第1回評議員会
7/4	害虫駆除
7/7	循環配管除菌洗浄
7/12	入所判定会
7/16	消防設備点検
8/5	害虫駆除
8/8	全館掃除
8/16	合同慰霊祭
8/28	火災防災訓練
9/4	害虫駆除
10/4	実地指導(通所幸梅園)
10/8	害虫駆除
10/15	入所判定会
11/7	害虫駆除
11/13	税務調査
11/14	税務調査
11/22	年金事務所調査
11/24	カーペット清掃
12/6	レジオネラ菌検査
12/10	害虫駆除
12/13	全館掃除
12/14	第2回理事会
12/17	地震・火災防災訓練
1/9	害虫駆除
1/15	入所判定会
1/22	消防設備点検
2/4	実地指導(法人)
2/4	ケアハウス事務費検査
2/4	害虫駆除
2/15	地下タンク漏洩検査
2/25	受水槽清掃
3/6	実地指導(居宅)
3/14	害虫駆除
3/17	第3回理事会
3/26	レジオネラ菌検査
3/26	第2回評議員会

## 研 修 会 参 加 記 録

No.	日 程	研 修 会 名	開 催 地	参 加 者 氏 名	備 考
1	5/24	令和6年度中予地区老人福祉施設協議会 第1回総会・施設長会	松山市	権田哲郎	
2	5/30	令和6年度愛媛県老人福祉施設協議会 第1回総会・施設長会	松山市	権田哲郎	
3	5/31	介護保険制度改正と報酬改定状況から考える介護事業	松山市	一木達矢	
4	6/15	令和6年度愛媛県介護支援専門員協会総会	松山市	滝下八千代	
5	7/9	第19回愛媛県老人福祉施設大会	松山市	権田哲郎・一木達矢・神川愛子 武本知己・山田麻美	
6	7/24	令和6年度精神障害者支援の障害特性と支援技法を学ぶ研修会	松山市	武智恵子	
7	7/29	令和6年度軽費・ケアハウス職員研修会	松山市	森川大	
8	8/2	マナー・コミュニケーション実践研修会	松山市	住田佳美	
9	8/22～8/23	第71回四国老人福祉施設関係者研究大会	徳島県	権田哲郎・横山裕輝・鍋田陽二・一木達矢	
10	8月(計4日)	令和6年度愛媛県介護支援専門員更新研修	松山市	横山裕子	
11	9/6	令和6年度企業トップクラス及び公正採用選考人権啓発推進員研修会	松山市	権田哲郎	
12	9/12	科学的介護情報システム(LIFE)第1回説明会	WEB	一木達矢・一色康子	
13	9/14	令和6年度伊予市高齢者福祉施設対象の普通救命講習会	伊予市	西山優季・山本恵美	
14	9/17	令和6年度社会福祉法人セミナー	松山市	権田哲郎	
15	9/20	愛媛県退職共済事業制度改正に係る加入法人向け研修会	WEB	一木達矢・一色康子	
16	9/30	令和6年度社会福祉法人施設長等研修会	松山市	権田哲郎	
17	10/1	令和6年度中予保健所特定給食施設等関係者研修会	松山市	小川千明	
18	10/2	不適切ケア研修会	松山市	権田哲郎・神川愛子	
19	10/10	令和6年度安全運転管理者講習	松前町	一木達矢	
20	10/12	口腔ケアとマネジメント研修会	松山市	権田哲郎・一木達矢・一色康子・神川愛子 松下佐嘉恵・中野兼作・山本恵美	
21	11/19	令和6年愛媛県年金委員等功労者表彰及び研修会	松山市	権田哲郎	
22	11月・12月(計5日)	令和6年度主任介護支援専門員更新研修	松山市	滝下八千代	
23	1/23	令和6年度改正育児・介護休業法等説明会	松山市	一木達矢	
24	1/28	退職共済実務者者研修会及び福利厚生セミナー担当者研修会	WEB	一木達矢・一色康子	
25	1/29～1/30	第22回四国老協セミナー	香川県	権田哲郎・神川愛子・今井智之	
26	2/7	能登半島地震被災事業所のBCP取り組み事例セミナー	WEB	武智恵子	
27	2/13	令和6年度軽費・ケアハウス職員研修会	松山市	森川大	
28	3/7	令和6年度愛媛県老人福祉施設協議会 第2回総会・施設長会	松山市	権田哲郎	
29	3/19	令和6年度中予地区老人福祉施設協議会 第2回総会・施設長会	松山市	権田哲郎	
30					
31					
32					

## 【部門別目標及び事業所別 年度取り組みと評価】

### 施設部門

【特養目標】 利用者の笑顔あふれる施設づくり

#### **指定介護老人福祉施設 なかやま幸梅園** （定員：30名）

- ① 入居率 99.0%以上の達成  
➡入居率実績 99.1% ※入院延日数 79日 （対象者 4名）
- ② 個別ケアの機能強化に向けて、定期的なアセスメント及び、プラン実施状況の確認、モニタリング（評価）を踏まえての計画の見直し等、PDCAに沿ったサービス提供を行うと共に、不適切ケアの解消に向けて、引き続き対策強化に取り組む。  
➡個別の利用者担当及び、介護支援専門員らと定期的なケアプランに関する評価、見直し等を行うと共に、併せて、排泄、褥瘡予防、看取り介護それぞれの各委員会メンバーらと連携しながらケア内容の見直しや、サービス改善に取り組んだ。また、各種研修会への参加や、不適切ケアの改善に向けて部署内において確認及び検証を行った。
- ③ タブレット端末を中心としたIT化推進に加え、制度改正（生産性向上推進体制促進等）を踏まえた介護ロボットやテクノロジーの活用に向けた準備を進め、更なる業務省力化、効率化及び、コストの削減を目指す。  
➡介護記録等の業務負担が軽減されたことで利用者へのサービス向上に繋がった。また、医療面でのデータ管理等、業務効率の大幅な改善に繋がった。
- ④ 入居者全体の重度化や容態の急変等、医療ニーズの多様化に対する日常的な医療的管理体制を構築すると共に、ターミナル期での「介護・医療」の更なる連携強化を図る。  
➡今年度、主治医と連携して4件のターミナルケアに対応した。また、日々の状態変化等の報告や相談等の対応を行った。入院件数は4件で延べ日数は79日であった。医療依存度の高い入居者の定期的な受診等についても家族及び医療機関と連携しながら対応した。
- ⑤ 新型コロナウイルス感染予防、防止等の対策を継続しつつ、実施方法等も工夫しながら施設全体での行事、イベント及び、家族会や地域住民等との交流についてコロナ以前の活動レベルへの復旧に取り組む。  
➡地域行事等、（秋祭りや神楽等）徐々に外部団体との交流やボランティア等の受け入れを再開、実施した。また、レクリエーション用具やクラブ活動等の充実を図った。

### 1. 市町村別

出身地	男性	女性	合計
伊予市(中山町)	3	23	26
伊予市(双海町)		1	1
伊予市(旧伊予)	1	1	2
合計	4	25	29

### 2. 年齢構成

年齢	男性	女性	合計
～ 64歳			
65 ～ 69歳		1	1
70 ～ 74歳	1		1
75 ～ 79歳		2	2
80 ～ 84歳	2	2	4
85 ～ 89歳	1	4	5
90 ～ 94歳		11	11
95 ～ 99歳		3	3
100歳～		2	2
合計	4	25	29

平均年齢

男性	81.8歳
女性	90.0歳
全体	88.5歳

最高年齢 103歳 2ヶ月  
最少年齢 68歳 6ヶ月

### 3. 在籍期間

在籍期間	男性	女性	合計
1年以内		3	3
1年以上～2年未満	1	5	6
2年以上～3年未満	1	4	5
3年以上～4年未満		3	3
4年以上～5年未満	1	3	4
5年以上～6年未満		1	1
6年以上～7年未満		1	1
7年以上～8年未満		1	1
8年以上～9年未満		1	1
9年以上～	1	3	4
合計	4	25	29

#### 4. 身体状況

障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)

認知症高齢者の日常生活自立度

	男性	女性	合計
正常		1	1
J1			
J2			
A1		2	2
A2	1	2	3
B1		3	3
B2	2	11	13
C1		3	3
C2	1	3	4
合計	4	25	29

※「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)判定基準」による

	男性	女性	合計
正常			
I		2	2
II a		1	1
II b		3	3
III a	2	5	7
III b	1	2	3
IV		10	10
M	1	2	3
合計	4	25	29

※「認知症高齢者の日常生活自立度判定基準」による

#### 5. 要介護度の推移

	令和4年3月31日	令和5年3月31日	令和6年3月31日	令和7年3月31日
要介護1			1	
要介護2				
要介護3	2	1		1
要介護4	16	16	15	15
要介護5	12	13	14	13
合計	30	30	30	29
平均	4.33	4.40	4.37	4.27

#### 6. 入退去状況

	延べ利用者数		入退去者数				
	平均入居者数	延べ人数	在籍者数	入居者数	退去者数		
	人				施設死亡	病院死亡	その他
4月	30.0	900	30				
5月	29.8	925	30				
6月	29.5	886	30				
7月	29.8	923	31	1	1		
8月	30.0	930	30				
9月	29.5	885	31	1	1		
10月	29.0	899	30				
11月	29.8	894	30				
12月	29.9	926	30				
1月	30.0	929	30		1		
2月	29.9	837	30	1			
3月	29.6	918	30		1		
合計		10,852		3	4		

稼働率

令和 6年度 99.10%  
 令和 5年度 97.80%  
 令和 4年度 98.30%



## 11. 事故状況 (医療機関受診を伴う事故)

	月日	性別	事故内容	場所	事故状況	対応・処置等
1	1月22日	女	転倒頭部打撲	ホール	起床し、トイレ誘導後にテーブル席に着き、介助者が離れて間もなく、膝掛けが床に落ち、自分で拾おうと前屈みなり、そのまま前方へ転倒した。その際に左前額部を打撲し、こめかみ辺りから少量、出血及び腫れが見られた。	家族及び、主治医に連絡。家族から受診希望され、主治医紹介状準備し救急搬送にて、救急病院搬送となる。CT検査の結果、特に異常なく、額周辺の傷を処置後に帰園した。

### 事故発生状況

発生内容 発生場所	受診の有無	転倒	転落	ずり落ち	衝突	誤嚥	誤薬	異食	離園	表皮剥離	利用者同士のトラブル	その他	合計
		ホール	有	1									
	無	4		2			1	4				7	18
居室	有												
	無	1		3						1		5	10
食堂	有												
	無											1	1
トイレ	有												
	無			1			1			1		1	4
浴室	有												
	無									2		2	4
デイルーム (娛樂室)	有												
	無												
施設外	有												
	無	2											2
その他	有												
	無												
小計	有	1											1
	無	7		6			2	4		4		16	39
合計		8		6			2	4		4		16	40

### (評価)

発生事故については同一者による転倒、ずり落ちが多くを占める。また、居室等で離床や臥床等の介助対応した職員が気付かず、後に別の職員によって発見、報告された表皮剥離や内出血事案等、発生原因が明確でない事故ケースが増加傾向で、日常的な注意喚起や事故防止検討会においても協議を行った。他、誤薬や異食等、対策による予防・防止効果が明確な事故についての検証の必要がある。併せてヒヤリハット活動についても引き続き機能強化に向けた取り組みが必要である。

ヒヤリハット件数 57件

## 12. 苦情発生の状況

苦情発生なし

## 【短期入所共通目標】在宅生活維持に向けた適切なサービス提供

- ◇ 利用者一人ひとりが安心して在宅生活が継続できるようサービスを提供する。
- ◇ 心身状態や介護方法等の情報を共有し、希望に沿ったサービス提供に繋げる。
- ◇ 医療依存度の高い利用者への適切なサービス提供体制の構築を図る。
- ◇ 災害時に的確な判断で迅速な行動がとれるよう統一した認識と防災意識を深める。

### **指定短期入所生活介護・介護予防事業所 なかやま幸梅園** (定員：10名)

#### ① 稼働率目標 85%

➡稼働率実績は 77.3%

利用対象者数は前年対比では殆ど変わりなかったが、比較的利用頻度が多かった利用者の施設入所や、死亡等が要因として大きい。年度末のコロナ感染に伴う利用制限で拍車をかけた。

#### ② 居宅サービス計画を基本とし、日常生活の様子や健康状態を観察しながら、生活課題に対するケアを中心に生活機能の維持・向上に繋がるサービスを提供する。

➡家族、居宅介護支援事業所及び、他のサービス事業所、各関係機関等と連携しながら概ね適正、適切にサービスを提供できたが、一方で、施設内で発生した新型コロナウイルス感染症の影響により一定期間、受け入れを制限せざるを得ない状況となった。

#### ③ 体調が不安定な状態やターミナル期等の利用希望に対し、家族及び主治医等と連携しながら柔軟な受け入れ体制を維持すると共に、風水害等、災害発生時等にも地域の福祉施設としての機能の推進を図る。

➡主治医及び担当ケアマネージャー（介護支援専門員）らと連携しながら家族の介護負担や都合等を踏まえながら医療依存度の高い利用者の受け入れや、災害（台風接近など）警報発令時や積雪等の影響に伴う帰宅困難やその他、在宅のサービス支援が滞るケースに対して、担当ケアマネージャーや行政機関等と相談しながら山間地区に居住する独居や高齢者夫婦世帯等、要援護高齢者の緊急的な受け入れにも対応した。

令和6年度

## 指定短期入所生活介護事業所 なかやま幸梅園 利用実績

- 1. 事業内容** 区分：短期入所生活介護〔併設型〕  
体制：送迎体制〔あり〕

- 2. 開所日数** : 365日  
 ■ 利用定員 : 10名  
 ■ 稼働率 : 77.3%  
 ■ サービス期間 : 令和6年4月1日～令和7年3月31日

### 3. 利用実績

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
		項目												
開所日数		30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
利用者数		19	22	26	20	18	19	21	23	22	20	19	12	241
介 護 度 別 利 用 状 況	要支援1													
	要支援2		6	14	10	15	6	9	8	3	18	17		106
	要介護1	65	37	32	18	17	15	38	26	26	48	58	34	414
	要介護2	45	26	46	42	49	40	45	47	75	62	63	39	579
	要介護3	38	18	33	20	39	27	53	42	44	38	41	26	419
	要介護4	89	125	121	111	97	94	76	82	72	75	38	31	1,011
	要介護5	20	21	21	21	21	22	20	48	43	20	19	21	297
	合計	257	233	267	222	233	204	241	253	263	261	236	151	2,821
	1日平均	8.6	7.5	8.9	7.2	7.5	6.8	7.8	8.4	8.5	8.4	8.1	4.9	7.7
送迎利用実績		41	48	60	61	60	46	54	60	49	44	45	12	580

### 4. 年間利用状況推移

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
年度														
令和6年度		257	233	267	222	233	204	241	253	263	261	236	151	2,821
令和5年度		218	258	263	259	297	277	285	282	294	257	207	241	3,138
令和4年度		292	298	292	295	241	292	274	239	280	224	273	270	3,270

#### 4. 事故状況 (医療機関受診を伴う事故)

	月日	性別	事故内容	場所	事故状況	対応・処置等
1	11月22日	女	転倒骨折	居室	夜間、廊下にて助けを呼ぶ声があり、確認すると、長座位になっているのを発見。額に擦過傷あり、その後、特に痛み等の訴えも無かった右手小指に腫れが出現し、受診の結果、骨折が確認された	看護師報告し、嘔吐やバイタルの確認指示及び、家族に報告。翌朝、傷の処置後、右手小指に腫れを主治医報告し、専門医への受診指示にて整形受診。レントゲン検査の結果、右手薬指骨折の診断。包帯固定にて保存治療となる
2	12月26日	女	転倒打撲	居室	巡視後、近くの居室から物音がした為、訪室すると、ベッド横に仰向けに倒れているのを発見する。本人に尋ねると「起きようと思ったら滑った…」と言われ、右腕辺りの痛み訴えあり	立位動作等、異状なく、看護師報告し、頭部打撲は無い様子にてバイタル及び嘔気、気分不良等の確認指示にて翌朝まで様子観察。家族報告し、病院(主治医)受診し、レントゲン検査実施し、特に異状なく、打撲との診断

#### 事故発生状況

発生内容 発生場所	発生内容												合計
	受診の有無	転倒	転落	ずり落ち	衝突	誤嚥	誤薬	異食	離園	表皮剥離	利用者同士のトラフ	その他	
ホール	有												
	無	4		1						1		1	7
居室	有	1											1
	無	2		1								3	6
食堂	有												
	無												
トイレ	有												
	無												
浴室	有												
	無												
デイルーム (娯楽室)	有												
	無												
施設外	有												
	無								2				2
その他	有	1											1
	無	1											1
小計	有	2											2
	無	7		2					2	1		4	16
合計		9		2					2	1		4	18

(評価)

発生状況としては転倒が9件、ずり落ち2件、離園2件、表皮剥離1件、及びその他が4件の発生となっている。全体としては同一者による居室内や、ホールでの転倒、ずり落ち事故で、スタッフが手薄な時間帯で発生している。受診を要する転倒事故が2件発生し、1件は打撲であったが、もう1件は思い掛けない部位の骨折であったことから、事故後の全身状態確認についてはより慎重に行うよう徹底を図る必要がある。また離園が2件発生しており、時季や場所等によっては重大事故と成り得ることから、適切な安否確認体制の確保が必要である。

ヒヤリハット件数 22件

#### 5. 苦情発生の状況

苦情発生なし

**基準該当短期入所生活介護・介護予防事業所 野中** (定員：6名)

- ① 利用者数の目標 一日の平均利用者数 4.8 人 (稼働率 80%) 稼働日 365 日  
➡稼働率の実績 73.5%、1 日の平均利用者数 4.4 人 目標達成率 91.8%  
12 月より利用回数が多い 2 名の利用者が老健に入居し、3 月にも 2 名が施設入所することで大幅に利用者数が減少した。3 月には、幸梅園ショートを利用する予定だった利用者を受け入れることで、一時的ではあるが利用者増となった。
  
- ② 利用者が住み慣れた地域、生活環境において、可能な限り在宅生活を継続していけるように、個々の健康管理及び必要な日常生活の援助を行う。  
➡利用時の健康チェックや、定期的に自宅での状況を確認することで、健康状態の把握ができた。安定した体調で過ごすことができ、在宅生活の継続に繋がった。
  
- ③ 慣れた環境で安心して生活ができるよう、併設している通所介護事業所と一体的にサービスを提供する。  
➡日中は慣れた場所・人と過ごすことで、精神的安定が図れた。また、対応に関しても通所介護・短期入所で統一を図ることで安心して過ごすことができた。

令和6年度

## 短期入所生活介護事業所 野 中 利用実績

1. 事業内容 区分: 短期入所生活介護〔併設型〕基準該当  
体制: 送迎体制〔あり〕

2. 開所日数 : 365 日
- 利用定員 : 6名
  - 稼働率 : 73.5%
  - サービス期間 : 令和6年4月1日～令和7年3月31日

### 3. 利用実績

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数		30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
利用者数		12	12	13	12	11	12	11	11	14	11	10	16	145
介 護 度 別 利 用 状 況	要支援													
	要介護1			3	9	13	9	9	10	17	10	8	15	103
	要介護2	30	25	26	13	13	16	22	17	11	25	23	38	259
	要介護3	72	49	55	75	68	73	74	76	64	50	51	35	742
	要介護4	28	60	57	55	44	51	43	43	45	40	21	19	506
	要介護5													
	合計	130	134	141	152	138	149	148	146	137	125	103	107	1,610
1日平均		4.3	4.3	4.7	4.9	4.5	5.0	4.8	4.9	4.4	4.0	3.7	3.5	4.4
平均介護度		2.9	3.3	2.8	2.9	2.9	2.7	3.0	2.8	2.8	2.8	2.8	2.9	2.9
送迎利用実績		57	77	73	75	75	76	83	84	64	71	44	58	837
野中地区の利用者数		58	59	52	70	75	76	59	53	56	69	44	26	697
野中地区の利用者割合		45%	44%	37%	46%	54%	51%	40%	36%	41%	55%	43%	24%	43%

### 4. 年間利用状況推移

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和6年度	130	136	141	152	138	149	148	146	137	125	103	106	1,611
令和5年度	111	159	138	160	148	136	173	162	137	122	116	115	1,677
令和4年度	177	175	169	165	96	129	164	132	127	126	109	102	1,671

## 5. 事故状況

受診を伴う事故なし

### 事故発生状況

発生内容 発生場所	受診の有無	転倒	転落	ずり落ち	衝突	誤嚥	誤薬	異食	離園	表皮剥離	利用者 同士の トラブル	その他	合計
ホール	有												
	無												
居室	有												
	無	1											1
食堂	有												
	無												
トイレ	有												
	無												
浴室	有												
	無												
デイルーム (娯楽室)	有												
	無												
施設外	有												
	無												
その他	有												
	無												
小計	有												
	無	1											1
合計		1											1

(評価)

夜間、居室のポータブルトイレを使用する際に座り損ねた事故が発生した。片麻痺がある利用者なので、足元が滑ってバランスを崩した可能性がある。滑り止めマットを敷いて対応するようにした。

ヒヤリハット件数 8件

## 6. 苦情発生の状況

苦情発生なし

## ケアハウス部門

### 【ケアハウス目標】 ケアハウスでの自立生活支援強化

- ✧ ケアハウスでの自立生活が営めるよう、定期的に関係機関と連携を図り、自立支援に向けた体制作り努める。必要に応じて各種福祉サービス等を導入し、住み慣れた地域での生活が継続できるよう支援を行う。
- ✧ 適宜、入居者の状態及び状況を確認し、体調変化等の早期発見と対応を図る。

### ケアハウス なかやま幸梅園 (定員：15名)

- ① 定期的に関係機関と連絡を行い、入居希望者の確保に努める。また、希望者の状態、状況等も適宜確認し、空室が生じた際には速やかに入居ができるよう対応する。  
➡令和6年度は7人の入所申請があり、待機者が数名在籍している状況ではあるが、順番がくると入居の見送り、また、検討に時間を要する待機者が多く、スムーズな入居に繋がらない状況となった。
- ② 定期的健康観察を行い、体調の安定に繋げると共に、服薬管理が必要な利用者については、適切に服薬できるよう支援を行う。  
➡毎日の検温、体調確認と定期的なバイタルチェックを行うことで異常時にも早期に対応できている。また、個々に応じた服薬支援を行うことで適切な服薬に繋がっている。
- ③ 新型コロナウイルス感染症の5類位置付け変更に伴い、感染症対策を継続しつつ外出、外食活動を再開する。また、その人らしい生活の実現に向けて柔軟に対応し、生きがいに繋がる支援を行う。  
➡谷上山へ花見、大洲フラワーパークへチューリップ見学、富士山へつつじ見学等、外出行事を多く実施した。また、数年振りに外食も実施し、入居者から喜びの声が聞かれた。

令和6年度

ケアハウス なかやま幸梅園

1. 入居者状況 (R7.3.31)

・定員 15名 《一人部屋 13室 二人部屋 1室》

・出身地状況 (単位：人)

出身地	男性	女性	合計
中山町	4	7	11
双海町	1		1
大洲市	1		1
合計	6	7	13

・年齢構成 (単位：人)

年齢層	男性	女性	合計
65歳～69歳	2		2
70歳～79歳	3	1	4
80歳～89歳	1	2	3
90歳～	1	3	4
合計	7	6	13

・平均年齢

全体	81.5歳
男性	76.7歳
女性	87.2歳

最高年齢 99歳 0ヶ月

最低年齢 68歳 11ヶ月

・在所期間状況 (単位：人)

期間	男性	女性	合計
1年未満	1		1
1年以上～2年未満	2	2	4
2年以上～3年未満	1	1	2
3年以上～4年未満		2	2
4年以上～5年未満		1	1
5年以上～6年未満	1		1
6年以上～7年未満			
7年以上～8年未満			
8年以上～9年未満			
9年以上～10年未満	1		1
10年以上	1		1
合計	7	6	13

・月別入居率状況 (単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和6年度	436	465	450	465	465	450	465	450	465	465	400	417	5,393
令和5年度	412	439	450	465	458	420	434	445	465	465	418	434	5,305
令和4年度	450	465	450	465	465	450	451	450	446	465	410	400	5,367

・入居者 1名 年齢は入居時によるもの

性別	年齢	出身地	入居日
男性	86歳	伊予市中山町	令和6年4月15日

・退去者 2名 年齢は退去時によるもの

性別	年齢	退去日	入居期間	理由
女性	89歳	令和6年2月8日	7年7ヶ月	入院の継続
女性	91歳	令和6年3月14日	1年9ヶ月	入院先で死去

## 2. 要介護度状況

令和7年3月31日

介護度	自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	合計
令和6年度	4	1	1	5	1		1	13
令和5年度	5			7	1		1	14
令和4年度	3	3		5	1			12

## 3. 在宅福祉サービス利用状況

利用種別	訪問介護	通所介護	短期入所	福祉用具レンタル
令和6年度	10名	7名	1名	4名
令和5年度	10名	8名	1名	5名
令和4年度	9名	6名		3名

## 4. 入退院状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
令和6年度人数									1	1	1		3
入院日数									31	31	8		70日
令和5年度人数									1	1			2
入院日数									7	9			16日
令和4年度人数					1	2				1	3	1	8
入院日数					12	17				23	34	11	97日

・個人別入院状況

年齢は入院時によるもの

性別	年齢	入院期間	入院日数	病名	入院先
女性	89	12月1日～12月23日	23日	大腿骨骨折	愛媛医療センター
女性	89	12月23日～2月8日	48日	術後リハビリ	伊予病院

## 5. クラブ活動

曜日	クラブ活動名	平均参加人数	備考
日	ビデオ観賞	13名	
月	調理	10名	
火	買い物	6名	第1、3、5実施
	生け花	6名	第2、4実施
水	体操	8名	
木	ひまわりクラブ	8名	
金	健康チェック	10名	
土	喫茶	7名	

## 6. 年間行事及び交流会

月	行 事 名
4	外出(伊予市、大洲市)
5	母の日会
6	お神楽・防災訓練(風水害)・父の日会・焼肉パーティー
8	幸梅園夏祭り・防災訓練(火災)・合同慰霊祭
9	敬老会
10	外食(松前町)・餅つき・地方祭・入居者健康診断
11	文化祭・亥の子
12	防災訓練(地震、火災)・忘年会・クリスマス会・餅つき、しめ縄作り
1	新年会
3	外出(久万高原町)

## 7. 事故状況 (医療機関受診を伴う事故)

No.	月 日	性別	事故内容	場所	事故状況	対応・処置等
1	12月1日	女性	転倒	エレベーター	バランスを崩して転倒	救急搬送後入院

### 事故発生状況

発生内容 発生場所	受診の有無	転倒	転落	すり落ち	衝突	誤嚥	誤薬	異食	離園	表皮剥離	利用者同士のトラブル	その他	合計
ホール	有												
	無												
居室	有												
	無						1						1
食堂	有												
	無					1							1
トイレ	有												
	無												
浴室	有												
	無												
デイルーム (娛樂室)	有												
	無												
施設外	有												
	無												
その他	有	1											1
	無	1											1
小計	有	1											1
	無	1				1	1						3
合計		2				1	1						4

(評価)

身体、認知機能が低下した同一の入居者による事故が数件発生したが、環境整備や在宅福祉サービスを活用しての事故対応では効果的ではないため、状態に応じた介護が提供できる環境への移転等を家族と継続して協議する必要がある。

ヒヤリハット件数：8件

## 8. 苦情発生の状況

苦情発生なし

## 看護部門

### 【看護目標】健康観察と医療支援の充実

#### 法人全体看護

- ① 入居者により良い医療支援が提供できるように、日常的な健康観察を行うと共に、日々の小さな変化も見逃さず、異常を早期に発見する。また、体調不良時には、嘱託医に報告・相談し、速やかに適切な治療が開始できるよう家族を含めての支援を行う。  
➡介護職と連携しながら早期発見及び、異常時には医師と連携しながら迅速に対応した。また、家族への連絡や相談も行いながら意向や希望に応じた支援を行った。
- ② ショートステイ・デイサービス等、利用者には、家族・担当介護支援専門員等と連携しながら、安心してサービス利用できるよう支援を行う。また、緊急時には家族・主治医と連携して、スムーズな対応を行う。  
➡担当ケアマネ及び関係事業所、医療機関等と連携して、事前の情報収集や状態把握を行い、利用者及び、その家族が安心してサービスを利用できるよう適切に対応した。
- ③ 職員及び、その家族も含めた健康管理、感染対策に関する助言等の支援を行うことにより、健康で安定的な就業環境の構築に繋げる。  
➡職員健診は年に2回（4月・10月）実施し、結果等を踏まえて必要な場合は受診に繋がった。また、体調不良等の際は状態、状況に応じて個別の相談等にも対応した。
- ④ 感染症等に関する情報収集と共有、並びに関係機関との連携をスムーズに行うことにより利用者、職員等を支援する。  
➡主治医と連携しながらインフルエンザ予防接種（年1回）の実施対応を行った。また、各事業所や医療機関等と連携し情報共有に努めた。また、特養にて2月末～3月下旬にかけてクラスターが発生し、隔離対応等に伴い利用者に著しいADL低下が見られたため、感染予防と併せて、罹患者及び、濃厚接触者に対する総合的なケアについては今後の課題である。
- ⑤ 服薬管理を徹底し、疾病の悪化予防及び、医療面でのサポートなどを行う。  
➡誤薬ゼロを目指して取り組んだが4件の誤薬事故が発生した。共に主たる要因は初歩的な確認ミスによるもので、確認方法や手順等について改めて指導を行った。事故原因となり得る様々な事情、状況と捉えて今後の再発防止に繋げる必要がある。

## 調理部門

### 【厨房目標】 喜びのある美味しい食事の提供と栄養ケアマネジメントの実施

- ◇ 行事食・イベント食を計画的に実施、充実を図る。
- ◇ 入居者1人1人の状態や課題を把握すると共に他職種とも連携して、個別のケアプランに基づいた栄養ケアマネジメントの実践及び、評価を定期的に行う。
- ◇ 近年中に予想される災害・緊急時に対する備えを充実させる。

### 総合福祉施設 なかやま幸梅園 厨房

- ① 地元で親しまれている食材や旬のものを基本として行事食や、おやつメニューの開発など、利用者個々に食べる喜びやQOLの維持向上に繋がる食事内容全般の工夫に取り組む。  
→山菜寿司や栗寿司、筍ご飯や豆ごはんなど、季節感を楽しめる地元の食材を使用した行事食、桜餅、いちご大福、柏餅、おはぎなど手作りおやつを提供した。また、行事、イベント食は、コロナ感染等の状況に配慮しつつ各事業所の担当者と相談しながら提供した。
- ② 厨房会を定期的開催し、より良い食事の提供ができるよう、食事委員会とも連携し、嗜好調査結果等も含めての意見交換やその他、食事に関する連絡調整を行う。  
→厨房会は毎月の開催はできなかったが、より良い食事の提供ができるよう、必要に応じて朝礼時や、休憩等の機会を捉えてその都度話し合い検討した。食事委員会とも連携し、嗜好調査結果等も含めての意見交換やその他、食事に関する連絡調整を行うことができた。また、現場の声を聴きながらその都度対応した。  
併せて栄養ケアマネジメントについては、多職種と連携しながら入居者個々の状態把握や課題の抽出等、適宜、加算対象となる計画作成及び評価等の体制確保・様式の改定に取り組んだ。また保健所主催の研修会に参加し、衛生管理計画等を作成した。
- ③ 引き続き、緊急対応マニュアルに沿った備蓄品の確保及び、消費期限のチェック等、適切な在庫管理を実施する。また近年中に予想される災害発生等に備えて、炊き出し等の訓練を行う。地域密着の施設としてアレルギーなど、要配慮者向け食品の備蓄も検討する。  
→定期的に非常食メニューの検討、見直しを行いながら必要な備蓄食品を確保すると共に、消費期限を確認しながら在庫管理も行った。炊き出しの訓練は行わなかったが、回転釜の整備等炊き出しに必要な準備を行った。アレルギーなど要配慮者向けの食品の備蓄品資料を収集し、検討した。
- ④ 大型調理関連器機等については引き続き、専門業者と連携して日常的なメンテナンスを実施し、安全かつ適切に使用すると共に、経年劣化等を踏まえての計画的な更新準備を進める。  
→専門業者と連携して日常的なメンテナンスを行い、計画的に更新準備を進めた。

## デイサービス部門

【デイ共通目標】身体機能の維持・改善、利用者の笑顔あふれるデイサービスへ

- ◇ 利用者一人一人の特性等に合わせたサービスの提供をする。
- ◇ 地域住民との交流を図り、地域との「なじみの関係」を築いていく。
- ◇ 災害時に的確な判断で迅速な行動がとれるよう統一した認識と防災意識を深める。
- ◇ 施設内外の研修に参加し、職員のスキルアップに努める。

### **指定通所介護事業所なかやま幸梅園**（定員：30名）

- ① 利用者数の目標 延べ570人/月（平均21.9 稼働率73%）稼働日：313日  
➡実績延べ人数 495人/月 1日の利用平均19.0名 稼働率63.3%  
目標達成率は 87%（稼働日：313日）  
年度初めは、新規が多くあり利用者数が増加傾向であったが、8月頃から施設入所が多くなり減少傾向となった。また、冬場からは入院や他界が続き、大幅な利用者の減少となった。新規の利用者は定期的に希望があり利用に繋がっているが、入所等による利用中止（終了）が上回る状況であった。
- ② 利用者個々に応じた機能訓練や、調理レク・外出行事等を増やすことで、魅力ある事業所にし、新規や追加利用の獲得につなげる。  
➡愛媛大学・徳島大学共同プロジェクトにおいて開始したエクサポ（体操、脳トレ、歌等）を実施することで、体操の参加率が上昇し効果的な機能訓練に繋がった。  
調理レクに関しては、季節に応じたメニューを提案し実施することで、楽しみに繋がった。しかし、人員の配置状況等により、外出に関しては実施ができなかった。
- ③ 関係機関との連携をとりながら、安心・安全・安定（3A）した在宅生活ができるよう個々の健康管理や日常生活の援助を行う。  
➡デイサービス利用時に状態の確認を実施し、異常時にはその都度、家族に連絡・相談することで、脳疾患や夏場の熱中症、マダニ、带状疱疹等の早期対応ができ、健康状態の維持に繋がった。

令和6年度

指定通所介護事業所 なかやま幸梅園

1. 事業内容 区分: 通所介護〔併設型〕利用定員 30名  
 体制: 入浴介助体制〔あり〕加算  
 : 送迎体制 〔あり〕

2. 開所日数 : 313 日 (稼働率 63.3%)

3. 利用実績

(単位:人)

項目		月												合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
実利用人数		58	61	65	66	60	60	66	67	67	63	59	60	752
介護 度 別 利 用 者 数	要支援 1・2	68	79	77	77	71	79	86	97	84	63	71	72	924
	要介護1	178	191	186	172	140	140	172	167	202	180	155	182	2,065
	要介護2	144	166	167	173	185	179	158	135	122	95	87	114	1,725
	要介護3	66	74	89	98	87	95	127	106	94	84	73	68	1,061
	要介護4	2	4	7	3	1	2	3	5	4	2	1	3	37
	要介護5	30	18	13	17	9	13	6	5	7	4	5	5	132
	合計	488	532	539	540	493	508	552	515	513	428	392	444	5,944
開所日数		26	27	25	27	27	25	27	26	26	27	24	26	313
1日平均		18.8	19.7	21.6	20.0	18.3	20.3	20.4	19.8	19.7	15.9	16.3	17.1	19.0
延べ入浴者数		390	419	418	426	383	390	417	404	397	336	299	350	4,629
平均入浴者数		15.0	15.5	16.7	15.8	14.2	15.6	15.4	15.5	15.3	12.4	12.5	13.5	14.8

4. 要介護度別利用者状況

介護度		月												合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
要支援		13	15	15	16	14	15	16	17	16	13	14	13	177
要介護1		20	19	22	23	19	18	22	22	26	26	25	25	267
要介護2		14	16	16	15	15	15	14	14	13	12	10	13	167
要介護3		6	7	8	8	8	8	11	11	9	9	7	6	98
要介護4		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
要介護5		4	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	31
合計		58	61	65	66	60	60	66	67	67	63	59	60	752
平均介護度		1.7	1.6	1.6	1.6	1.7	1.6	1.6	1.6	1.5	1.5	1.5	1.5	1.6
要支援の割合		22%	25%	23%	24%	23%	25%	24%	25%	24%	21%	24%	22%	24%

## 5. 介護度別利用者年齢構成

介護度 性別 年齢階層	要支援		要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
64歳以下													
65歳～69歳												1	1
70歳～79歳	1		2		1		1	1			1		7
80歳～89歳	2	4	4	6	2	5							23
90歳以上	1	5	3	10	4	1	2	2		1			29
総計	13		25		13		6		1		2		60

## 6. 年間利用状況推移

年度 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和6年度	488	532	539	540	493	508	552	515	513	428	392	444	5,944
令和5年度	516	542	514	485	485	513	486	545	517	478	445	479	6,005
令和4年度	575	552	573	522	427	503	517	480	444	308	386	516	5,803

**7. 事故状況** (医療機関受診を伴う事故)

受診を伴う事故なし

**事故発生状況**

発生内容 発生場所	受診の有無	転倒	転落	ずり落ち	衝突	誤嚥	誤薬	異食	離園	表皮剥離	利用者同士のトラブル	その他	合計
ホール	有												
	無												
居室	有												
	無												
食堂	有												
	無											1	1
トイレ	有												
	無												
浴室	有												
	無	1											1
デイルーム (娯楽室)	有												
	無	3										1	4
施設外	有												
	無												
その他	有												
	無	1											1
小計	有												
	無	5										2	7
合計		5										2	7

(評価)

今年度は転倒事故が5件起きており、全体の事故数の7割程度を占めている。その中でも、付き添い中に起きた転倒が4件となっている。利用者の身体状態の低下が大きく影響しているが、援助の手順に不備があった部分もあった。定期的な身体状況の確認と、個人に応じた援助方法の検討が必要であった。

ヒヤリハット件数 8件

**8. 苦情発生の状況**

苦情発生なし

**地域密着型通所介護事業所・介護予防事業所 佐礼谷** (定員：18名)

- ① 利用者数の目標 延べ330人/月 1日の平均利用者数 12.7人(稼働日:313日)  
➡延べ人数 281人/月 1日平均利用人数 10.8人 目標達成率は85%  
(稼働日：313日)  
上半期は平均利用者数が294人、下半期が平均利用者数271人と上半期後半からの入院・施設入所等が大きく影響した。また、実利用人数も上半期の32人から上半期は29人と減少している。
  
- ② 地域の医療機関と連携強化を図り、可能な限り在宅での生活が継続できるよう支援する。  
➡感染症の大きな蔓延は無かったが、平均年齢の上昇に伴い入院や施設入所が多くあった。入浴時の全身観察などを徹底することで、皮膚トラブルやマダニの発見など、地域の医療機関へ連絡し、早期の受診に繋がった。
  
- ③ 生きがいのある生活が送れるよう、個々の趣味や能力に応じた活動を提供する。  
➡脳トレプリントの活用や、朝の会時に昔食べていたおやつなどを聞き、おやつレクに繋げることで個々の得意な活動にも繋がった。

令和6年度

## 指定通所介護事業所 佐 礼 谷 利用実績

1. 事業内容 区分: 通所介護〔地域密着型〕利用定員 18名  
 体制: 入浴介助体制〔あり〕加算  
 : 送迎体制 〔あり〕

2. 開所日数 : 313 日 (稼働率:62.3%)

### 3. 利用実績

(単位:人)

項目	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用人数		32	34	35	35	29	28	30	31	30	28	27	28	367
介護度別利用者数	要支援1・2	50	43	41	40	23	23	24	24	20	18	18	22	346
	要介護1	84	103	107	97	92	86	101	106	118	110	122	151	1,277
	要介護2	73	65	58	63	67	68	64	55	54	51	44	50	712
	要介護3	26	37	31	33	31	32	36	33	32	25	12	14	342
	要介護4	60	64	62	54	49	50	53	50	49	42	46	30	609
	要介護5	9	9	10	9	8	8	9	1				25	88
	合計	302	321	309	296	270	267	287	269	273	246	242	292	3,374
開所日数		26	27	25	27	27	25	27	26	26	27	24	26	313
1日平均		11.6	11.9	12.4	11.0	10.0	10.7	10.6	10.3	10.5	9.1	10.1	11.2	10.8
延べ入浴者数		239	264	261	253	230	227	249	228	231	210	209	254	2,855
平均入浴者数		9.2	9.8	10.4	9.4	8.5	9.1	9.2	8.8	8.9	7.8	8.7	9.8	9.1

### 4. 要介護度別利用者状況

介護度	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援		9	8	8	8	5	5	5	5	4	4	4	4	69
要介護1		9	12	13	13	11	10	12	13	16	14	15	16	154
要介護2		7	6	7	7	7	7	6	6	5	5	4	4	71
要介護3		2	3	2	2	2	2	3	3	2	2	1	1	25
要介護4		4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	2	39
要介護5		1	1	1	1	1	1	1	1				1	9
合計		32	34	35	35	29	28	30	31	30	28	27	28	367
平均介護度		1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.8	1.8	1.7	1.5	1.6	1.5	1.5	1.7
要支援の割合		28%	24%	23%	23%	17%	18%	17%	16%	13%	14%	15%	14%	19%

## 5. 介護度別利用者年齢構成

介護度 性別 年齢階層	要支援		要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
64歳以下													
65歳～69歳													
70歳～79歳			1										1
80歳～89歳	2		1	6	1			1					11
90歳以上		2	1	7	1	2			1	1		1	16
総計	4		16		4		1		2		1		28

## 6. 地域別利用者数

地域名 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
佐礼谷	18	19	20	20	18	17	20	21	20	20	19	20	232
中山	9	10	10	10	9	9	8	8	8	6	6	6	99
双海	4	4	4	4	1	1	1	1	1	1	1	1	24
平岡	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
合計	32	34	35	35	29	28	30	31	30	28	27	28	355
佐礼谷割合(%)	56.3	55.9	57.1	57.1	62.1	60.7	66.7	67.7	66.7	71.4	70.4	71.4	65.4

## 7. 年間利用状況推移

年度 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和6年度	302	321	309	296	270	267	287	269	273	246	242	292	3,374
令和5年度	254	309	291	293	304	306	296	292	295	286	277	308	3,511
令和4年度	320	320	316	322	215	302	345	306	266	228	232	251	3,423

**8. 事故状況** (医療機関受診を伴う事故)

受診を伴う事故なし

**事故発生状況**

発生内容 発生場所	受診 の有 無	転倒	転落	ずり落 ち	衝突	誤嚥	誤薬	異食	離園	表皮 剥離	利用者 同士の トラブル	その 他	合計
ホール	有												
	無						1						1
居室	有												
	無												
食堂	有												
	無												
トイレ	有												
	無												
浴室	有												
	無												
ダイルーム (娯楽室)	有												
	無												
施設外	有												
	無												
その他	有												
	無												
小計	有												
	無						1						1
合計							1						1

(評価)

今年度の事故件数は1件、服薬忘れの事故であった。確認不足による事故であったため確認方法の再検討を行った。

ヒヤリハット件数 8件

**9. 苦情発生の状況**

苦情発生なし

## デイサービス部門

【デイ共通目標】身体機能の維持・改善、利用者の笑顔あふれるデイサービスへ

- ◇ 利用者一人一人の特性等に合わせたサービスの提供をする。
- ◇ 地域住民との交流を図り、地域との「なじみの関係」を築いていく。
- ◇ 災害時に的確な判断で迅速な行動がとれるよう統一した認識と防災意識を深める。
- ◇ 施設内外の研修に参加し、職員のスキルアップに努める。

### **地域密着型通所介護事業所・介護予防事業所 野中** (定員：16名)

- ① 利用者数の目標 延べ 250 人/月 1 日の平均利用者数 8.2 人 稼働率 51%  
(稼働日：365 日)  
➡実績延べ人数 226 人/月 1 日の平均利用者数 7.4 人 稼働率 46.5%  
目標達成率は 90.4% (稼働日：365 日)  
年間の新規利用者が 4 名おり、利用回数を増やす利用者もいたが、入院や施設入所する利用者も多く、大幅な利用者数の増加には繋がらなかった。
- ② 利用者が住み慣れた地域、生活環境において、可能な限り在宅生活を継続していけるように、個々の健康管理及び必要な日常生活の援助を行う。  
➡利用時の健康チェックや、定期的に自宅での状況を確認することで、健康状態の把握ができた。安定した体調で過ごすことができ、在宅生活の継続に繋がった
- ③ 地域住民や老人クラブ等と連携や協力を行い、地域との交流を図ることで、「なじみの関係」を築き、事業所への理解を深めてもらう。  
➡老人クラブの総会や、ミニデイサービスに参加することはできたが、継続的な参加には至らなかった。一方で、送迎時に地域住民と挨拶をすることで、なじみの関係を継続することができた。

令和6年度

## 指定通所介護事業所 野 中 利用実績

### 1. 事業内容

区分: 通所介護〔単独型〕利用定員 16名

体制: 入浴介助体制〔あり〕加算

: 送迎体制 〔あり〕

### 2. 開所日数

: 365 日

稼働率: 46.5%

### 3. 利用実績

(単位: 人)

項目 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
実利用人数	21	23	23	24	22	25	26	26	25	22	21	18	276	
介護度別利用者数	要支援1・2	13	14	12	6	5	12	13	13	7	5	7	8	115
	要介護1	49	50	58	76	79	74	82	83	66	58	48	58	781
	要介護2	93	96	87	81	73	85	87	90	92	77	69	82	1,012
	要介護3	18	18	19	28	29	24	30	28	32	24	17	15	282
	要介護4	34	43	32	36	38	38	42	41	28	33	31	29	425
	要介護5	9	7	8	9	8	9	8	9	8	9	8	9	101
	合計	216	228	216	236	232	242	262	264	233	206	180	201	2,716
1日平均	7.2	7.4	7.2	7.6	7.5	8.1	8.5	8.8	7.5	6.6	6.2	6.5	7.4	
月～土曜日平均	7.6	8.0	8.4	7.5	7.0	7.7	7.5	7.5	7.6	6.6	7.4	6.6	7.4	
日曜日平均	1.4	2.0	1.3	2.0	1.5	1.0	2.0	1.8	1.6	1.8	1.8	1.6	1.6	
延べ入浴者数	134	155	162	143	139	141	141	150	147	131	127	127	1,697	
平均入浴者数	4.5	5.0	5.4	4.6	4.5	4.7	4.5	5.0	4.7	4.2	4.5	4.1	4.7	
野中地区の利用者数	136	139	144	148	143	157	168	167	153	134	116	129	1,734	
野中地区の利用者割合	63%	61%	67%	63%	62%	65%	64%	63%	66%	65%	64%	64%	64%	

### 4. 要介護度別利用者状況

介護度 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援	2	2	2	2	1	2	2	2	1	1	1	1	19
要介護1	6	6	7	8	8	8	9	9	8	7	7	6	89
要介護2	6	7	6	5	5	6	6	6	6	6	6	6	71
要介護3	3	3	3	4	4	4	4	4	5	4	3	2	43
要介護4	3	4	4	4	3	4	4	4	4	3	3	2	42
要介護5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
合計	21	23	23	24	22	25	26	26	25	22	21	18	276
平均介護度	2.1	2.2	2.2	2.2	2.2	2.0	2.2	2.2	2.2	2.1	2.0	2.2	2.1
要支援の割合	10%	9%	9%	8%	5%	8%	8%	8%	4%	5%	5%	6%	7%

### 5. 介護度別利用者年齢構成

介護度 性別 年齢階層	要支援		要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
64歳以下													
65歳～69歳											1		1
70歳～79歳						1							1
80歳～89歳		1	2		1	2				1			7
90歳～			1	3	1	1		2		1			9
総計	1		6		6		2		2		1		18

### 6. 年間利用状況推移

年度 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和6年度	216	228	216	236	232	242	262	264	233	206	180	201	2,716
令和5年度	196	224	223	205	194	203	206	210	205	184	191	179	2,420
令和4年度	288	297	278	286	172	249	285	258	213	188	163	194	2,871

**7. 事故状況** (医療機関受診を伴う事故)

受診を伴う事故なし

**事故発生状況**

発生内容 発生場所	受診の有無	転倒	転落	すり落ち	衝突	誤嚥	誤薬	異食	離園	表皮剥離	利用者 同士の トラブル	その他	合計
ホール	有												
	無											1	1
居室	有												
	無											1	1
食堂	有												
	無												
トイレ	有												
	無												
浴室	有												
	無												
デイルーム (娯楽室)	有												
	無												
施設外	有												
	無											1	1
その他	有												
	無												
小計	有												
	無											3	3
合計												3	3

(評価)

令和6年度は、怪我をする大きな事故は発生しなかった。しかし、職員が介助中に発生した事故が2件あった。2件とも職員の対応で防ぐことが出来た可能性があり、今後はヒヤリハット活動や、勉強会を通して介助方法等の技術や、危険察知能力の向上を図ることで未然に事故を防ぎたい。

ヒヤリハット件数 27件

**8. 苦情発生の状況**

苦情発生なし

## 在宅部門

### 【居宅目標】居宅サービス計画の充実

- ◇ 利用者・家族が住み慣れた自宅で安心して生活できるようなケアプランを作成する。
- ◇ 達成度を毎月評価し、計画見直しが必要な場合には担当者会議へ繋げる。

### **指定居宅介護支援事業所 なかやま幸梅園**

- ① 課題分析を総合的な視点で適切に行い、本人家族がわかりやすいケアプランを作成する。  
➡課題分析結果を記載し、本人家族がわかりやすい内容のケアプランが作成できた。
- ② 事業所との連携を密にとり、状況に応じてサービス調整する。  
➡連携はしっかりとれ、状況に応じたサービス調整ができた。

## 1. サービス計画数

(要支援1・要支援2・事業対象者は伊予市包括支援センターからの委託を受けて実施) (単位:人)

介護度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	49	51	55	55	49	47	54	53	57	57	59	58	644
要介護2	31	33	33	31	32	31	33	32	30	29	27	29	371
要介護3	16	16	19	19	18	18	20	22	19	17	16	15	215
要介護4	17	17	18	18	13	14	13	19	13	12	9	7	170
要介護5	6	5	5	5	6	6	5	5	5	5	5	6	64
要介護 計	119	122	130	128	118	116	125	131	124	120	116	115	1,464
要支援1・2	44	46	48	47	45	48	49	48	46	46	46	43	556
事業対象者	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
合計	164	169	179	176	164	165	175	180	171	167	163	159	2,032
介護+(支援+事業対象者)1/3の数	134	138	146	144	133	132	142	147	140	136	132	130	1,653

<3年間の動き> (要支援と事業対象者は三人で一人として計算)

	計画数	実人数	要介護者数	要支援者数 (事業対象者)	ケアマネ数	1人の持ち人数
R6年	1,653	2,032	1,464	556(12)	4.9	28.1(34.6)
R5年	1,702	1,990	1,414	564(12)	4.9	28.9(33.8)
R4年	1,753	2,053	1,452	597(4)	5	29.2(34.2)

## 2. 契約開始と契約終了の状況

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護、新規契約		6	2	4	2	2	1	9	4	4	5	2	1	42
予防、新規委託		2	4	0	1	1	1	2	0	2	1	1	0	15
支援→介護					1									1
介護→支援							1							1
契約 終了	永眠	0	2	0	2	1	2	0	2	2	2	1	2	16
	施設入所	1	2	1	2	0	3	3	1	1	3	3	2	22

## 3. 介護保険代行申請数

(単位:人)

種類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規	5	4	2	1	3	0	2	3	2	2	1	4	29
更新	6	8	12	9	6	7	14	7	5	3	6	9	92
区分変更	3	2	2	2	2	2	3	0	0	1	3	2	22
合計	14	14	16	12	11	9	19	10	7	6	10	15	143

#### 4. 提供依頼状況

サービス種別	年間件数
訪問介護	423
訪問看護	230
通所介護	592
通所リハビリ	12
地域密着通所介護	555
短期入所生活介護	364
短期入所療養介護	17
居宅療養管理指導	13
福祉用具貸与	902
予防福祉用具貸与	208
予防訪問看護	96
予防短期入所生活介護	19
通所型(独自)	237
訪問型(独自)	209
訪問A	12

#### 5. 福祉用具購入対応

No.	申請月	福祉用具名
1	7	バスボード
2	7	浴槽台
3	9	ポータブルトイレ
4	11	ポータブルトイレ
5	11	シャワー椅子
6	1	シャワー椅子・浴槽台
7	1	ポータブルトイレ
8	3	シャワー椅子

#### 6. 住宅改修対応

No.	申請月	改修内容
1	4	段差解消
2	5	手すり
3	6	手すり
4	6	手すり
5	11	手すり
6	2	手すり
7	2	手すり

#### 7. サービス担当者会議開催数

(単位:回)

開催月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開催回数	30	39	26	31	19	21	37	32	27	30	18	30	340

#### 8. 主治医への照会依頼 (医療系サービスや軽度者の福祉用具レンタルに関する意見の照会等) (単位:件)

提出月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
町内 医院	薬情請求	20	25	22	20	14	18	26	31	18	15	14	20	243
	照会	1	0	1	1	2	0	4	1	1	0	0	2	13
町外	照会	1	1	0	1	1	0	0	0	0	3	0	0	7

#### 9. 行政への介護保険事業適正化に係るケアプラン点検

(単位:回)

提出月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
提出プラン数	6	0	0	3	2	2	5	4	2	4	8	3	39

#### 10. 居宅会議開催数 年間60回 (毎月5回×12か月)

年間60回(毎月5回×12か月)

1.1. 他事業所との事例検討会（参加事業所：幸梅園、伊予市社協、伊予診療所、ケアフル伊予）

困難事例等を他事業所のケアマネ達と一緒に考える 会場：伊予市社協

	月/日	参加者	事例提供
1	9/12	佐藤、久保、横山、神開	伊予診療所
2	3/12	佐藤、久保、横山、神開	ケアフル伊予

1.2. 地域ケア個別会議（伊予市長寿介護課主催で、伊予市役所で開催）

自立支援・重度化防止に向け多職種で協議する会

	月/日	参加者	担当
1	9/19	久保	事例提供
2	10/17	滝下	助言者(主任ケアマネ)
3	3/21	神開	事例提供

[参加者]
事例提供者、利用中の介護保険サービス事業者 長寿介護課、保健師、管理栄養士、歯科衛生士 薬剤師、理学療法士、作業療法士 包括支援センター、主任ケアマネ

1.3. 研修会等への参加

	月/日	研修内容	参加者	会場
1	6/7	正しく知ろう高齢者虐待～みんなで支える介護に向けて～	佐藤、神開	伊予市保健センター
2	6/15	愛媛県介護支援専門員協会総会	滝下	愛媛県生涯学習センター
3	7/15～ 8/18	介護支援専門員専門(更新)研修【研修課程Ⅱ】	横山	愛媛県総合社会福祉会館
4	8/6	自分らしく生きるために～後見人(成年後見制度)がいる暮らし～	久保、横山	伊予市保健センター
5	8/8	松山市介護ロボット介護ソフト説明・体験会	佐藤、神開	松山市総合コミュニティセンター
6	8/20	認知症セミナー「災害時における高齢者への生活支援」	滝下	伊予市役所4階
7	8/27	認知症セミナー「今からできる認知症への備えと最新治療」	佐藤、久保、横山、神開	伊予市役所4階
8	9/4	伊予市CM研修会「防災」	滝下、佐藤、久保、横山、神開	伊予市役所4階
9	10/12・ 10/13	ファンリテーター養成研修	佐藤	えひめ共済会館
10	10/26	「堺市認知症疾患医療センター」の取り組み～診断後支援・家族支援まで～	久保	松山市男女共同参画推進センターコムズ
11	11/11～ 12/22	主任介護支援専門員更新研修	滝下	愛媛県総合社会福祉会館
12	11/13	伊予市CM研修会「社会資源」	滝下、佐藤、久保、横山、神開	伊予市役所4階
13	11/26	認知症講演会「薫ちゃんの介護日和」	久保	伊予市役所4階
14	12/1	移動に関する支援と福祉用具の活用	神開	IYO夢みらい館
15	12/5	債務整理と法テラスの使い方	久保	伊予市保健センター
16	12/13	就労・生活支援サポーター養成講座	横山	伊予市保健センター
17	1/17	2市3町合同ケアマネカフェ	滝下	砥部町文化会館
18	1/25	ケアマネージャーが学ぶ循環器病～介護予防に活かす～	横山	ウエルピア伊予
19	2/14	伊予地区在宅医療・介護連携推進事業研修会	滝下、神開	オンライン
20	2/20	伊予医師会地域共生推進委員会「認知症」吉田卓Dr・松浦PHN	滝下、神開	ウエルピア伊予
21	3/12	伊予市CM研修会「生活困窮・ヤングケアラー・障がい」	滝下、佐藤、久保、横山、神開	ZOOM
22	3/29	精神疾患を悪化させないケアマネジメント	佐藤、神開	愛媛県歴史文化博物館

1.4. 介護支援専門員実務研修 見学実習 ⇒「今年度 無し」

1.5. 個別避難計画（あい・愛プラン）作成 ⇒「5件」

1.6. 社会福祉協議会から申請（介護4以上、寝たきり認知症で尿便意なし）⇒「新規申請1件」

## 【在支目標】相談窓口と地域支援の充実

- ◆ 伊予市地域包括支援センターの窓口機関の委託を受け、中山町において支援を必要とする高齢者及び家族などの相談に対応し、必要に応じて関係機関との連絡調整や適切なサービスに繋げる等の支援を行う。
- ◆ 地域ケア会議、一般介護予防、家族介護教室、認知症相談、高齢者配食サービス事業、自主事業「がんばる会」などの支援及び実施する。

### **在宅介護支援センター なかやま幸梅園**

- ① 第6回中山町健康調査を通して、何らかの診断や状態確認が必要な対象者について、状態悪化時に迅速に対応が取れるよう定期的に訪問を行い、必要に応じて認知症相談や介護申請、サービス利用などの相談に繋げていく。  
➡状態確認が必要な人に対して定期的な訪問を行い、必要に応じてサービス利用や認知症相談に繋げることができた。
- ② がんばる会の新規利用者増につながるよう、引き続き周知を行い、外出や個々の興味に応じた活動を提供する。また、今後の在り方についても検討していく。  
➡周知活動や内容の充実化を行ったが利用者増には繋がらず、平均利用者数は昨年度から0.1下がり7.4人。今後の在り方について検討を行い、次年度の事業計画へ反映した。
- ③ サロン等の地域における自主的な介護予防活動を支援する。また、地域の課題解決・支援体制の整備に向けては、引き続き地域住民と連携・検討する機会に参加する。  
➡予防事業については4部落のサロンを対象に延べ11回行った。地域の支援体制整備については、集まりへ参加、10月には永木地区でのイベント開催に協力、60名近くが参加した。

## 1. 地域ケア会議実績

目的 保健・医療・福祉・行政関係者が集まり、中山町における要援護者の抱える問題解決に向けた情報交換等を行う場として月に一度開催する。

開催日 毎月第1木曜日 13時30分～

開催場所 なかやま幸梅園 会議室等

出席者 保健・医療・福祉などの現場職員を中心に15名程度

医師・訪問看護師、歯科医師・歯科衛生士、保健センター職員・保健師、社協専門員・居宅介護支援事業所、各居宅サービス事業所、施設相談員、地域包括支援センター、在宅介護支援センター

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
参加者数	18	14	14	14	11	13	15	13	10	11	12	中止	145

## 2. 一般介護予防

目的 介護予防の基本的な知識を普及啓発するため、各種教室や相談などの実施、サロン等の地域における自主的な介護予防活動を支援する。

内容 ウォーキング教室、認知症について普及啓発、転倒骨折予防(体操)

対象者: 65歳以上の高齢者及びその支援のための活動に関わる者

### 令和6年度 転倒骨折予防

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施回数	1	1	2	2			2	1	1	1	1	1	13
参加人数	8	6	12	13			10	5	7	5	5	5	76

### 令和5年度

実施回数	1	1	2	2			2	1		1	1	1	12
参加人数	8	7	18	14			18	4		6	6	6	87

### 令和6年度 認知症予防

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施回数		1	1			1	1		1	1		2	8
参加人数		12	9			5	12		4	12		17	71

### 令和5年度

実施回数				1					1				2
参加人数				13					8				21

### 3. 家族介護教室事業実績

目的： 高齢者を介護している家族及びボランティア等に対し、介護方法や介護予防及び介護者の健康作り等についての知識及び技術を習得させるための教室を開催することにより、高齢者を介護している家族等の身体的・精神的負担の軽減を図ると共に在宅福祉の向上及び介護予防に資することを目的とする。

協力機関： 保健センター・社会福祉協議会 居宅介護支援事業所 介護保険対象事業所

開催場所： 中山コミュニティセンター集会室等

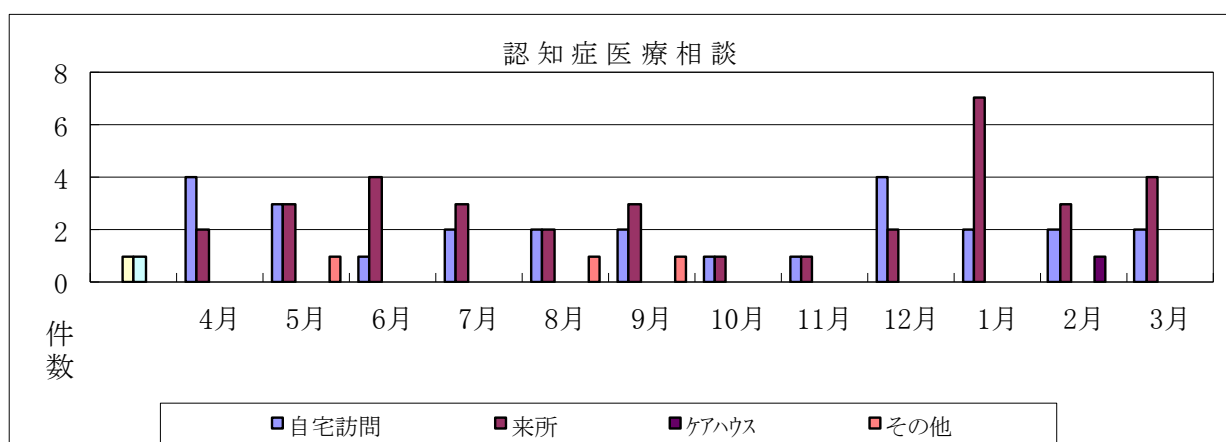
月	日	曜日	時間	場所	内容	講師	参加人数
4	17	水	10:30～ 11:30	なかやま幸梅園 会議室	介護保険改正と中山町の現状について	滝下CM 武智	4
5	16	火	13:00～ 15:00	なかやま幸梅園 食堂	体操でフレイル予防	徳島大学 藤川Dr	7
6	20	木	10:00～ 12:00	中山コミュニティセ ンター 集会室	認知症について	愛大病院 立花Dr	11
7	24	水	13:00～ 15:00	中山コミュニティセ ンター 集会室	口腔ケアについて	中山歯科診療所 高橋Dr	6
8	27	火	13:00～ 15:30	幸梅園集合、伊予市 役所4階	認知症セミナー参加	愛大病院 伊賀Dr	4
9	20	金	13:00～ 15:00	中山コミュニティセ ンター 集会室	腰痛予防について	理学療法士 一ノ宮	11
10	18	金	10:30～ 12:00	中山コミュニティセ ンター 集会室	防災について	伊予市危機管理 課 新田	8
11	26	火	13:00～ 15:00	幸梅園集合、伊予市 役所4階	認知症講演会へ参加		7
12	17	火	13:30～ 15:00	中山コミュニティセ ンター 集会室	整理収納講座	美活アドバイ ザー 片岡	10
1	14	火	10:30～ 12:00	中山コミュニティセ ンター 集会室	自宅で出来る体操	健康運動指導士 山本	5
2	新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施せず。						
3	新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施せず。						

#### 4. 認知症相談

目的：認知症高齢者を抱える家族に対し、愛大精神科専門医による総合相談の実施。

実施日：月2回程度

月別 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
自宅訪問	4	3	1	2	2	2	1	1	4	2	2	2	26
来所	2	3	4	3	2	3	1	1	2	7	3	4	35
ケアハウス											1		1
その他		1			1	1							3
合計	6	7	5	5	5	6	2	2	6	9	6	6	65



## 5. 高齢者配食サービス事業

目的 訪問による定期的な食事の提供に併せて、高齢者の安否確認を行うことで、当該高齢者等の社会的孤立感を解消し、及び自立支援を図る。

対象者 ①65歳の一人暮らしの者で、身体虚弱等のため調理し食事することが困難である。  
 ②65歳以上の者のみで構成する世帯の世帯主又は世帯員で、当該世帯主又は世帯員のいずれも身体虚弱等のため、調理し食事することが困難である。  
 ③その他の理由(上記に類する具体的な理由がある)

・延べ利用数 244名

・延べ配食数 4,353食

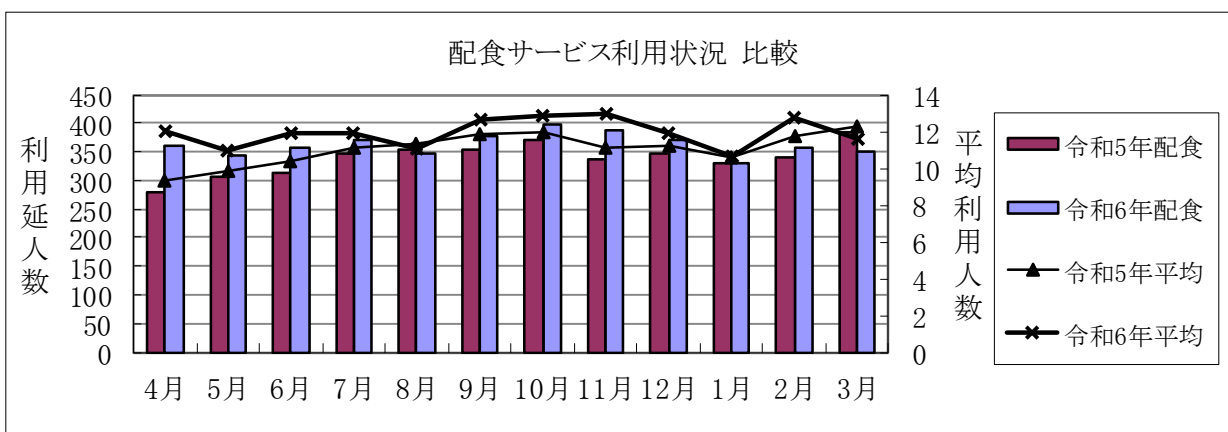
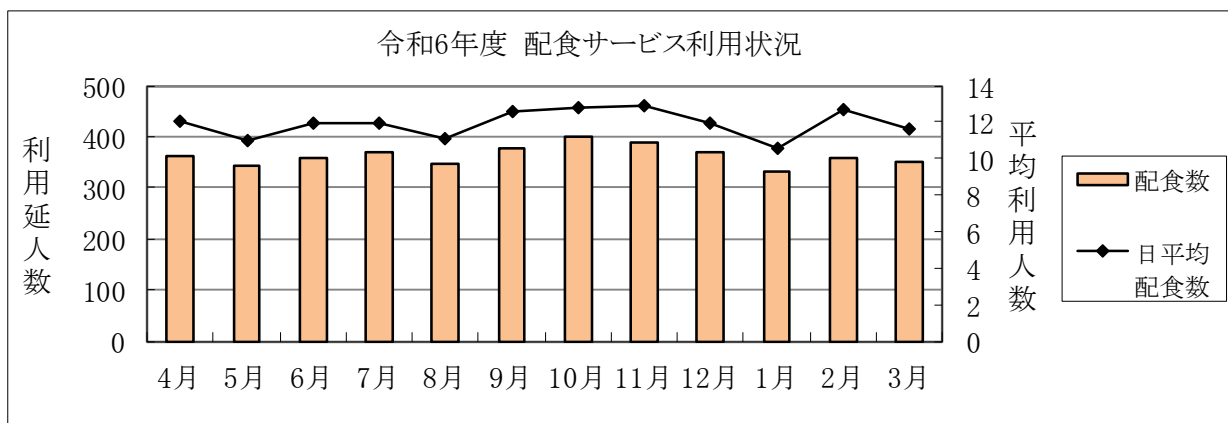
### 【月別利用人数及び配食数】

令和6年度

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
配食数	362	344	358	370	347	378	399	387	371	330	358	349	4,353
利用人数	20	17	20	21	19	19	19	23	21	23	22	20	244
日平均配食数	12	11	11.9	11.9	11.1	12.6	12.8	12.9	11.9	10.6	12.7	11.6	11.9

令和5年度

配食数	279	306	313	347	353	354	371	335	348	331	341	384	4,062
利用人数	18	17	18	19	20	21	18	18	18	19	19	23	228
日平均配食数	9.3	9.8	10.4	11.1	11.3	11.8	11.9	11.1	11.2	10.6	11.7	12.3	11



## 中山コミュニティセンター

### 6. 自主事業「がんばる会」

家で閉じこもりがちな、概ね60歳以上の高齢者の心身のリフレッシュ、生きがい作り及び自立生活の支援や社会的交流を図ることで、要支援・要介護状態にならないように予防する。認知症予防、介護予防を目的とした教室を行う。

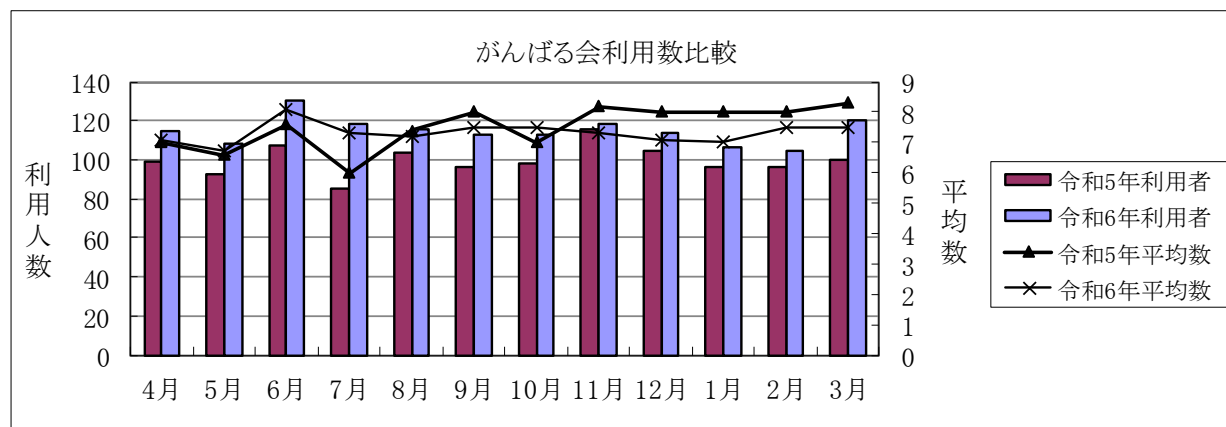
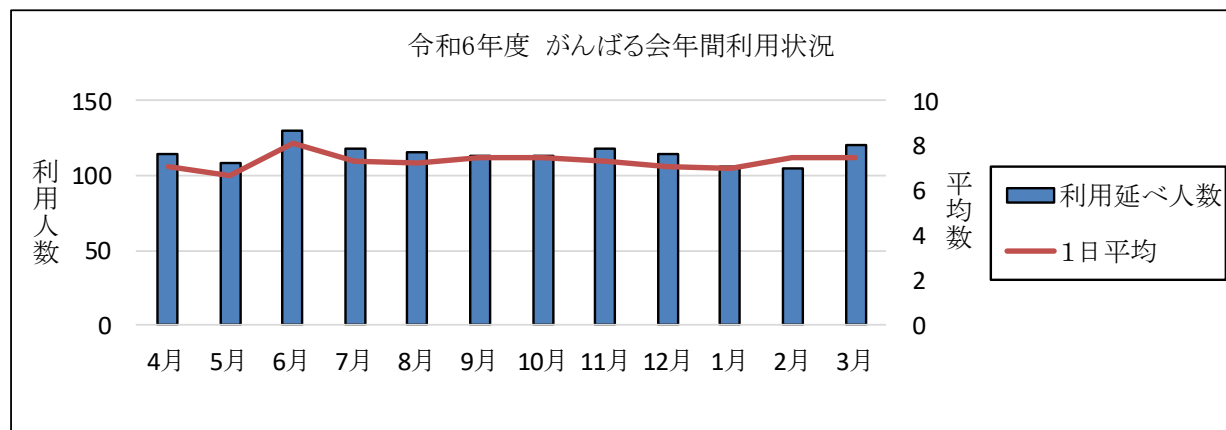
対象者 概ね60歳以上の高齢者

令和6年度

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開設日	16	16	16	16	14	15	15	16	16	15	14	16	185
利用延べ人数	115	108	130	118	116	113	113	118	114	106	105	120	1,376
1日平均	7.1	6.7	8.1	7.3	7.2	7.5	7.5	7.3	7.1	7	7.5	7.5	7.4

令和5年度

開設日	14	14	14	14	14	12	14	14	13	12	12	12	159
利用延べ人数	99	93	107	85	104	96	98	116	105	96	96	100	1,195
1日平均	7	6.6	7.6	6	7.4	8	7	8.2	8	8	8	8.3	7.5



## 7. 施設管理と介護予防活動

公の施設として地域住民のだれもが気軽に利用できるよう管理運営を行う。また、地域の介護予防の拠点として、教室・相談等を通し地域住民へ介護予防の基本的な知識を普及啓発をし、地域における自主的な介護予防活動を支援する。

令和6年度 中山コミュニティセンター 集会室

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用回数	2	4	3	7	1	3	5	4	4	3	2	7	45
利用人数	10	23	23	61	5	32	27	31	25	14	12	159	422
利用料	1,900	2,320	3,960	6,920	950	3,490	3,410	2,110	2,600	3,650	1,740	6,090	39,140

主な利用団体と内容 オカリナサークル(教室) 個人(ダンス練習) 泉町広報区長会 中山梅寿会(教室)

令和5年度 中山コミュニティセンター 集会室

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用回数	6	6	4	5	4	5	4	3	1	2	6	7	53
利用人数	24	47	30	27	30	35	28	21	2	22	27	76	369
利用料	4,550	7,130	3,480	4,060	4,810	5,020	4,830	2,960	580	3,910	5,640	7,040	54,010

主な利用団体と内容 オカリナサークル(教室) 個人(ダンス練習) 泉町広報員会(会議) 社協(相談)

令和6年度 介護予防活動

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施回数	5	4	4	6	4	4	4	4	4	3	4	4	50
参加人数	32	42	40	32	14	28	30	31	25	25	28	33	360

活動内容 体操教室 いきいき教室(脳トレ、調理、創作レク、体操など) 手芸の集まり

令和5年度 介護予防活動

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施回数	5	6	7	5	5	9	6	6	6	7	7	6	75
参加人数	44	43	47	46	44	54	45	43	36	46	38	39	525

活動内容 体操教室 いきいき教室(脳トレ、調理、創作レク、体操など)

## 8. 地域包括ケア相談窓口設置事業

令和6年度

月別 相談内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険	32	28	25	13	22	29	18	22	29	32	32	31	313
保健福祉 サービス								4					
権利擁護													
虐待													
その他													
合計	32	28	25	13	22	29	18	26	29	32	32	31	313

令和5年度

月別 相談内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険	30	20	23	23	22	24	29	29	60	52	40	26	378
保健福祉 サービス	1		1										2
権利擁護													
虐待													
その他		5		3	3	2	5	5					23
合計	31	25	24	26	25	26	34	34	60	52	40	26	403

### 高齢者アセスメントシート作成件数

令和6年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
認知症	2	2		3	4	3		1	4	3	3	2	27
見守り	2	1	3		2		1	1		1	1	3	15
移動手段 の確保													
交流促進													
買物支援													
合計	4	3	3	3	6	3	1	2	4	4	4	5	42

令和5年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
認知症	2	2	2	2		3	3	5	5	2	2	1	29
見守り	2	3	2	2	1								10
移動手段 の確保													
交流促進													
買物支援													
合計	4	5	4	4	1	3	3	5	5	2	2	1	39

## 訪問介護部門

### 【訪問介護目標】 利用者の笑顔あふれる訪問介護へ

- ◇ 利用者の立場に立った適切なサービスを提供する。
- ◇ 住み慣れた家で自分らしく安心して生活ができるよう、個々のニーズの把握に努める。

#### 指定訪問介護事業所 なかやま幸梅園

- ① 利用者数の目標 延べ290人/月 1日の平均利用者数9.5人  
(稼働日：365日)  
➡利用者数 延べ317.5人/月 1日の平均利用者数10.4人
- ② ヒヤリハット、事故発生時等の原因の検証、再発防止策の策定並びにスタッフ間での情報共有に努める。  
➡ヒヤリハット発生時に報告、全員で共有、対策を検討し事故予防に努めた。
- ③ 毎月事業所で勉強会を実施し、職員のスキルアップに努める。  
➡施設内研修と訪問介護の必須研修を毎月のヘルパー会で事業所内研修として実施し、職員のスキルアップに努めた。

## 訪問介護

年度	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均 利用者数	
		R6	介護(人)	20	20	22	20	20	20	23	21	18	19	20		22
回数	305		341	315	369	285	286	270	239	216	195	207	238	3,266		
支援(人)	7		7	7	9	8	8	8	8	8	8	8	8	94	1.5	
回数	42		50	44	50	46	44	49	50	43	34	42	50	544		
R5	介護(人)	18	19	18	19	18	20	20	20	20	19	21	21	233	8.3	
	回数	241	258	220	218	234	252	247	247	243	280	287	300	3,027		
	支援(人)	9	8	9	9	9	7	7	7	7	7	6	8	93		1.5
	回数	53	53	55	53	56	43	39	48	48	42	34	42	566		
R4	介護(人)					15	16	18	20	18	20	18	17	142	6.3	
	回数					168	148	152	224	218	207	208	207	1,532		
	支援(人)					11	11	11	11	12	11	11	9	87		2.1
	回数					69	64	68	74	69	58	52	57	511		

## 障がい部門

### 【くりのみ目標】 障害福祉サービスの充実

- ◇ 地域活動支援センターとして、基礎的事業と強化事業を通じた社会参加の機会と居場所として機能を担う。また、交流会やバザーを通じた住民との交流や事業の啓発、地域貢献をする。
- ◇ 一般相談、障害児相談支援、特定相談、地域移行、地域定着等の提供。ライフステージに合わせ、その人が希望する生活に近づくよう必要なサービスの提供や制度の利用支援を行う。
- ◇ 伊予市障がい者計画・伊予市障がい福祉計画・障がい児福祉計画の推進に寄与する。

### 地域活動支援センター くりのみ

- ① 内職等の開拓を行い、新規の利用者を確保し、年間の平均利用者数 10 人を目標にする。  
→新規利用はあったが、途中で利用を中止することや他事業所に移行され、平均利用者数 9.2 人と目標よりも下回った。
- ② 他事業所を希望する対象者への支援方法を検討し、移行できるよう支援する。  
→B 型の併用と他機関の就職支援を受けた結果、障害者雇用に 1 名繋げることができた。その他、くりのみから B 型事業所を併用する方向に向けて支援をしている。

## 1. 地域活動支援センターくりのみ 年間行事

	行事内容	参加人数	場所
4月 8日	内子へドライブ	12	内子分庁・竜王公園
4月 17日	ボランティア活動(草引き)	9	中山町内
5月 7日	ちらし寿司作り	10	地域活動支援センターくりのみ
6月 2日	ほっとネットいよし(カフェの手伝い)	1	しおさい公園
6月 18日	紫陽花を見よう	12	松山市総合公園
7月 26日	素麺とぶりの照り焼き作り	8	地域活動支援センターくりのみ
7月 26日	ハンモック編み方体験会	2	松山市(BERE FITNESS CLUB)
8月 14日	買い物に行こう	10	伊予市(マルヨシ・DCM)
9月 30日	テイクアウトできる料理を作ろう(ラーメン・餃子)	10	地域活動支援センターくりのみ
10月 11日	精神障害者地域交流事業(ZOOM)	9	地域活動支援センターくりのみ
10月 26日	あいのわフェスティバルin永木	8	永木コミュニティセンター
10月 30日	コスモスを見に行こう	11	大洲市五郎
11月 15日	送別会	10	地域活動支援センターくりのみ
11月 26日	紅葉を見に行こう	11	道の駅ひろた
12月 6日	わくわく交流会への参加	7	松前町体育館
12月 17日	シェイクアウト訓練の実施	8	地域活動支援センターくりのみ
12月 23日	忘年会	9	エミフル松前
1月 7日	和と洋を取り入れた調理(ロールキャベツ、ピラフ、お雑煮)	10	地域活動支援センターくりのみ
2月 4日	ドライブ:砥部 →天候により、伊予市のフジで買い物に変更	9	砥部七折 → 伊予市
3月 13日	ちらし寿司を作ろう	8	地域活動支援センターくりのみ

## 2. 利用実績

	利用実人員	利用延人員	開所日数	1日あたりの平均利用者数	令和5年度	令和4年度
4月	17	200	21	9.5	10.8	9.5
5月	17	201	21	9.6	10.0	10.5
6月	17	181	21	8.6	10.0	10.9
7月	17	194	22	8.8	9.0	11.3
8月	17	176	20	8.8	8.0	10.1
9月	16	187	19	9.8	7.9	9.7
10月	14	205	22	9.3	8.0	10.7
11月	14	183	20	9.2	8.8	10.8
12月	13	195	20	9.8	9.4	10.4
1月	13	162	19	8.5	9.7	10.3
2月	14	167	18	9.3	9.9	10.6
3月	13	182	20	9.1	9.4	11.0
合計	182	2,233	243	9.2	9.2	10.5

## 指定相談支援事業所 くりのみ

- ① 追加になった加算の取得条件を見直し、記録方法の変化に対応できるようにする。また、データや書類の整理をする。
  - ➡書類をファイルに綴じるだけでなく、パソコンにスキャンし保存する方法を取り入れた。今後も書類の整理が必要。
  
- ② 報酬改正により、体制加算を取るための研修を受ける。
  - ➡新しい加算を申請するまでには至らなかったが、未受講の体制加算の研修を受講した。

## 1. 特定相談

令和6年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画相談	3	5	4	1	6	5	10	6	2	4	9	3	58
継続相談	10	12	15	10	10	14	9	12	9	7	4	16	128

令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画相談	4	2	5	2	2	4	8	4	4	4	2	3	44
継続相談	10	9	12	9	7	10	10	8	11	12	11	22	131

令和4年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画相談	3	4	7	3	3	6	8	6	5	2	2	2	51
継続相談	8	12	8	11	13	9	9	14	12	12	14	17	139

## 2. 障害児相談

令和6年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画相談	2	1	3	1	5	6	4	0	1	2	3	1	29
継続相談	3	3	4	3	2	2	4	4	4	5	3	7	44

令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画相談	1	1	1	2	3	2	1	0	0	3	2	2	18
継続相談	0	0	2	1	0	1	1	0	1	3	3	5	17

令和4年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画相談	1	0	0	3	2	2	1	0	1	2	1	1	14
継続相談	0	0	2	0	0	1	1	1	4	3	1	1	14

### 3. 一般相談

#### 1. 相談支援を利用している障害者等の人数

		実人員	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他	合計
令和6年度	障害者	8	1	0	2	4	1	0	0	16
	障害児	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和5年度	障害者	8	1	0	2	4	0	0	1	16
	障害児	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和4年度	障害者	13	1	0	4	7	0	1	0	26
	障害児	0	0	0	0	0	1	0	0	1

#### 2. 支援方法

	訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	合計
令和6年度	16	1	0	9	24	0	18	9	77
令和5年度	18	1	3	5	0	0	33	30	90
令和4年度	40	0	4	25	3	0	41	35	148

#### 3. 支援内容

	福祉サービス	障害理解	健康・医療	不安解消	保育・教育	家族関係	家計・経済	生活技術	就労
令和6年度	3	15	10	15	0	11	0	14	6
令和5年度	20	10	9	0	0	4	2	38	0
令和4年度	18	13	8	3	0	21	2	63	2

	社会参加 余暇	権利擁護	その他	合計
令和6年度	7	0	10	91
令和5年度	0	0	11	94
令和4年度	1	0	29	160

